



菓子製造工場での説明

なっており、平日にもかかわらず、店内は満席でした。その中で障がい者メンバーたちは、接客係として働いていました。ここで働いているメンバー全員は、私たちに常に笑顔で挨拶、そして接客をし、大変心が温まりました。

また、このカフェだけでなく、別の菓子製造工場でも、みんな真剣にやりがいをもって一生懸命働いているのがとても印象的でした。これは、この施設の特徴である適材適所が実践されているのだと感じました。

次に、北九州水素ステーションを視察しました。このステーションは、福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議が展開している「福岡水素戦略（HyLifeプロジェクト）」の社会実証事業「水素ハイウェイ」の一貫として2009年9月に運用が開始されました。隣接する新日鐵住金株式会社八幡製鉄所で発生する副生水素をパイプラインにより直接供給するオフサイト型（工場で製造した水素をステーションに輸送する方式）ステーションです。2010年度には、経済産業省が目指す水素利活用社会のための実証実験である「水素タウンプロジェクト」として、同ステーションからのパイプラインによって市街地に直接水素を供給し、一般家庭や公共施設、店舗等に設置した定置用燃料電池のほかに燃料電池フォークリフトや燃料電池自動車等も含めた水素供給

給についての実証実験が行われました。

私たちと同日に安倍首相も同所を訪れ、水素と酸素で発電し、モーターを回す燃料電池車に試乗し、「政府としても、水素インフラの普及に貢献し、全国に100以上の水素ステーションをつくっていく」とコメントしていました。

水素は、燃焼しても空気中の酸素と反応して水に戻るだけで、二酸化炭素や大気汚染物質を全く排出しない究極のクリーンエネルギーです。温暖化を初め地球環境問題が深刻化する中で、水素エネルギーは、使い続けられれば枯渇し、燃やせば温暖化を加速する化石燃料に代わる新エネルギーとして注目されています。

次に美浦トレーニングセンターにも関係ある、JRA小倉競馬場を視察しました。普段入ることができない着順判定室や記者室を見学することができました。



環境にやさしい新エネルギー

小倉競馬開催直前とあって、馬場や場内の整備が急ピッチで進められていました。

この視察を通し、各分野で先進的な取り組みをしている自治体等を参考とし、本村でも実行に移せるよう努力していきたいと思います。